

城取博幸の
広島のスーパーマーケット見聞録

NO159
2023年7月
城取フードサービス研究所
城取 博幸

広島のスーパーマーケット見聞録
2023-07-29 17:00:20

広島「アバンセ」古江店の商品の研究
スーパーマーケットを展開するユアーズが運営 歴史ある広島の高級食料品店
地方に目的を持って行き、郷土料理を食べ、スーパーマーケットで買物をするのは楽しい



イベントスケジュール



惣菜売場

高級食料品店＝洋食とは限らない

和食を中心にした品揃え



広島名物「穴子めし」



2種類のごはんが入った弁当
丁寧につくられている



インスタ製造の昔懐かしい「つぶれ金時豆煮」の大陳
煮豆は根強いファンを獲得できる
日持ちもするため大量調理できる



常温保存可能の豚角煮

こえも賞味期限が長ければ大陳可能だ

これからは常温食品の比重が高まると私は思っている



アンドーナツ

よく売れている



長野県のメーカーの「たまごパン あんバター」
地元メーカーの商品について目が行ってしまふ



コンコース



小いわしが旬

刺身や天ぷらにするとおいしい

鮮度落ちが早いので早めの値引き



刺身売場



広島名物「がんす」
魚のすり身フライ
そのまま食べられる



いかなごき煮
佃煮もインスタ製造



これもインスタ製造のいかなごぎ煮



煮豆、佃煮など日持ちがする商品をインスタ製造して大陳

精肉コーナー

「京都和牛」色も鮮度もよい

1310年に書かれた和牛書「国牛十図」に「丹波牛」として取り上げられているらしい
事実だとすれば日本最古のブランド牛だ



「館ヶ森高原豚」

「料理の国王100選」に認定された逸品



「うまかハーブ鶏」

熊本県、大分県で飼養されている品種「チャンキー」



青果売場



カットフルーツとフルーツサンド



何度も紹介している「はっさくゼリー」



愛媛県産の「せとうちみかんゼリー」5個入りゼリー



「弥栄饅頭」と書かれているから和菓子か



ドライ食品の品揃えは輸入品よりも国産品主体



温泉水



購入商品

広島名物 穴子めし

穴子は焼き穴子を一口大にカットしたもの



寿司弁当

いなりの皮は炙り



太巻きの中に「昆布煮」

だしに使われた昆布かも 初めて見た商品

食べても昆布は柔らかい



がんす

高級品であるため魚の味が強い



ねぎたこちぎり

半夏生に売られていた商品



ミートボール

もちぶたを使ったもの



せとうちみかんゼリー 5個入り

愛媛県今治市大三島果汁工業(株)

製造所はアヲハタ(株)



デザインがいい



果肉がたっぷり
アヲハタの技術が生きているのか



サゴタニ牧場 ヨーグルト

広島県広島市湯来町の砂谷牧場のヨーグルト

きび糖を使ったあっさりとした味



安芸「弥栄饅頭」

饅頭ではなくパイ生地を使用している洋菓子



花九 うめジャム

私の地元長野県諏訪市のメーカー



ご当地サイダー



温泉水



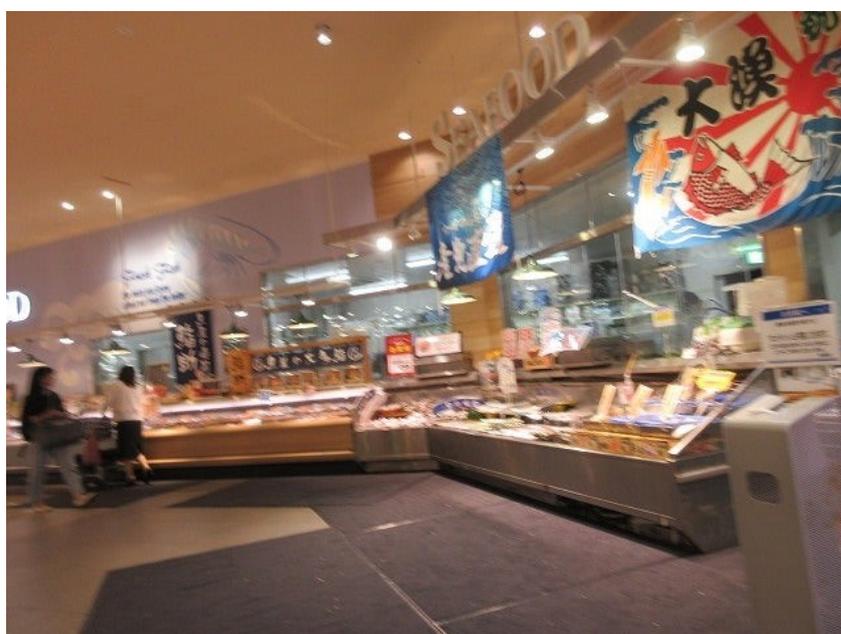
レシート



ゆめタウン LECT レクト」の商品の研究
あまり時間がなくサッと見せていただいた



鮮魚コーナー



貝類の量り売り

以前はスーパーマーケットでアサリやシジミを量り売りしていた



練製品コーナー



上段には高額商品

日持ちがすることが条件で品揃えされている



コンコースの加工品コーナー



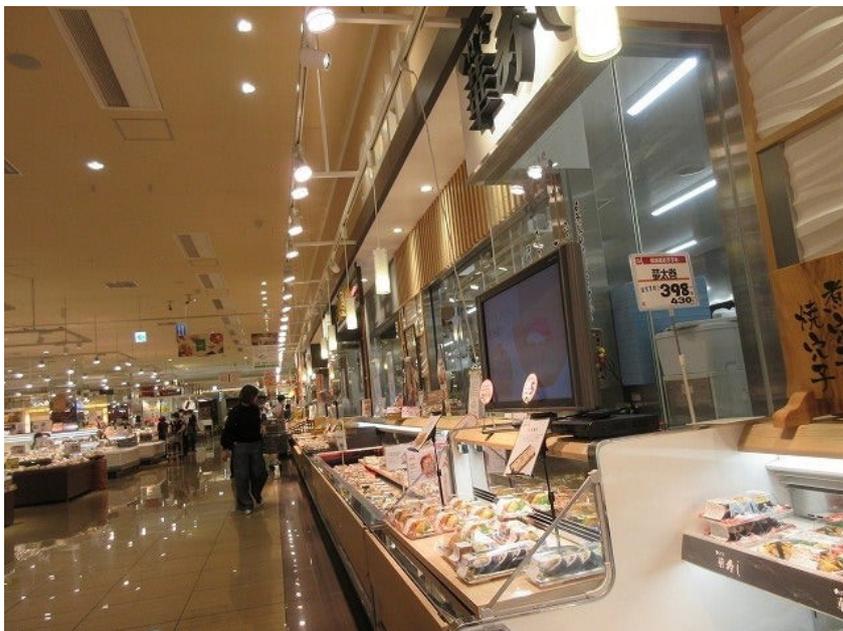
大型パック+メガパック



オックステールはシンクパックとトレー入りを品揃え



惣菜コーナー



串揚げ



中央に見えるのは山口名物「山賊焼(いろり山賊)」

テーマパークのような店(山賊)で、鶏の半身に串を刺して炭火で豪快に焼いている
いい商品だ



弁当売場



夏のスタミナ 肉丼



デリサラダコーナー サラダランチに最適な商品



購入商品

「安芸柴」「青しそ広島菜」

広島菜を漬けたもの ごはんやソーメンと一緒に食べると最高



「因島のはっさくゼリー」

はっさくの発祥の地 因島のゼリー

新商品は「因島のはっさくシャーベット」「広島餅」「はっさく大福」



さざれ石

練製品の中にチーズが入って「さざれ石」のように見える



あご野焼き

あご 飛魚のすり身のちくわ

しっかりとした歯ごたえが特徴



レシート



中央公園 広島城跡

広島城大手門



広島城は 1589 年「毛利輝元」によって水陸交通の便のよいこの地に築城された



この石垣の茶色い変色と割れは？



苔が蒸して歴史を感じさせる



1945年の原子爆弾投下により赤く変色しひび割れている



大手門



説明文



このコンクリートの半地下の建物は

「中国軍管区司令部跡」

ここは知らなかった



今も残る当時の遺構

広島城の周辺には多くの軍事施設があった

ここ防空作戦室では、軍人に混じって学徒動員された「比叡山高等女学校」の女生徒達も働いていた



この場所の軍事専用電話(地下ケーブル)を使って
女学生が原爆による広島への壊滅を通信した
これが「広島被害の第一報」と言われている
その後の消息は知られていないようだ



説明文 当時の写真



中国軍管区司令部 防空作戦室(爆心地から約700メートル)

広島城とその周辺には、多くの軍事施設(中国軍管区司令部など)があり、ここには半地下式の防空作戦室が設けられていた。ここでは、多くの軍人、軍需に當り、学徒動員された比治山高専女学校の女学生たちも働いていた。原爆で、市内の電報電話は破壊されたが、かろうじて残ったこの軍事専用電話を使って、女学生が広島への壊滅を通信した。これが、広島への原爆被害の第一報と語られている。

(原爆後の防空作戦室周辺、1945年10月 米軍撮影)

Chugoku Regional Military Headquarters Air Defense Room (700 meters from the hypocenter). In and around Hiroshima Castle were a number of military facilities including the partially underground air defense room of the Chugoku Regional Military Headquarters. In this room, soldiers were assisted by Hiroyama Girls' High School students mobilized for the war effort. The atomic bomb destroyed telephone and telegraph lines, but the students, using the barely intact military phone system, managed to relay news of Hiroshima's destruction. This seems to have been the first report of Hiroshima's suffering.

(Area surrounding the air defense room, October 1945. Photograph by U.S. Army)

大手門から入り右側に向かえば半地下のコンクリートの建物が見える
中に入れないが窓から中を見ることができる



護国神社

主祭神は、広島県西部地出身の国事殉難者、広島原爆犠牲の動員学徒・女子挺身隊等



茅の輪

しきたりに従い輪をくぐる



合掌



由緒



ここは「大本営跡」

立派な基礎が今も残る



1894年8月、日清両国に戦端が開かれた
同年9月に大本營が広島に移される

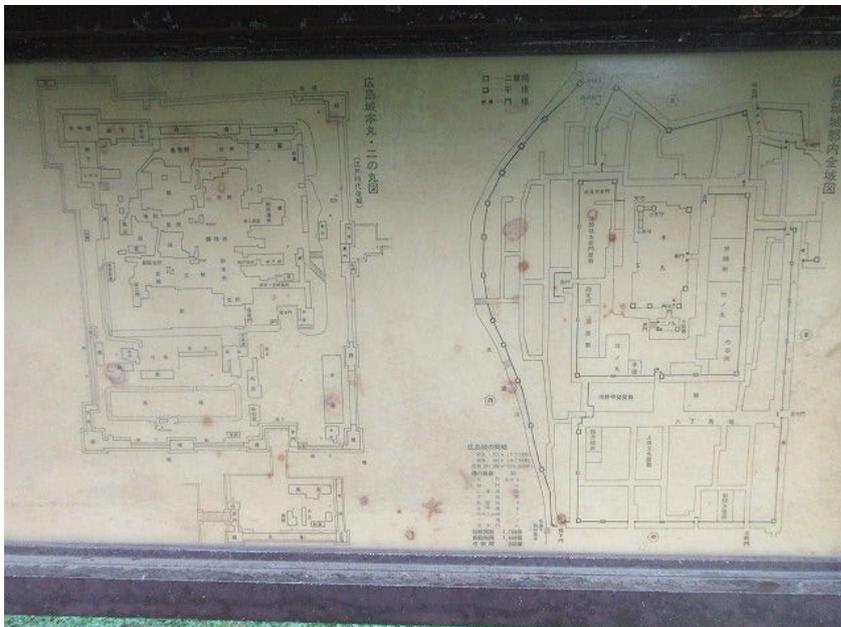


原爆により倒壊し今は基礎石だけが残る



当時の地図

レンガ造りの2階建ての建物があった



説明文



広島大本営跡

明治27年(1894)8月に日清両国に戦端が開かれたのち、それまでに山陽鉄道が開通していたことや宇品港を擁するといった諸条件により、同年9月広島市に大本営が移されることとなり、広島城内にあった第五師団司令部の建物が明治天皇の行在所とされ、ここに大本営が設けられた。

明治天皇の広島滞在は、同年9月15日から翌年の4月27日までの7か月あまりに及んだ。その後、建物は広島大本営跡として保存されたが、震災により倒壊し、今は基礎石のみ残されている。

Hiroshima Imperial Military Headquarters

By the time the Sino-Japanese War broke out in August 1894, the extension of the Sanyo Railway to Hiroshima and construction of

明治天皇の広島滞在は、同年9月15日から翌年4月27日まで



広島城天守閣

威厳のある天守閣が城下を見下ろす
睨みをしっかり利かせているようにも見える
今回は時間がなく内部には入らなかった



毛利氏⇒福島氏⇒浅野氏と城主が変わった城



天守閣に続く石段



広島城は、「毛利氏」の城であったが、関ヶ原の戦いで敗れたため毛利氏は萩に転封
「福島氏(美濃国大野郡出身)」が入城したが、幕府に無断で城の改築をおこなったため「武家諸法度」違反で
信濃国川中島に転封
その後、浅野氏(美濃国土岐郡出身)が入城し浅野家は明治維新まで続く
津山藩の初代藩主「森氏」も信濃国川中島から転封した
なにか信濃国との繋がりが深い



ここにも建物があつた

福島氏にとっては毛利氏の反撃を恐れ堅固な城をつくるため改装したのではないかと思う



以上、中央公園 広島城跡は終わり

翌日は「安芸武田」の「銀山城(かなやまじょう)」に登ろうと思ったが雨のため諦める
その代わりに「安芸東照宮」へ行ってきた